

2016年度事業報告

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

■年中行事を楽しむ会 Feel Japan

留学生が日本の文化や風習を体験し、国際理解を促進するプログラム。

6月17日	歌舞伎鑑賞@国立劇場	友愛学舎5、留学生22、日本語ボランティアの会学習者19、ボランティア19の計52名
11月26日	紅葉狩り@高尾山	友愛学舎3、留学生8の計11名
1月22日	早稲田教会の子どもたちとお餅つき	留学生30、子ども・保護者20、青年10の計60名

■国際理解講座 Global Understanding

日本の歴史や現状を学び、国際理解を深め、議論できる力を育む。世界の中、とくにアジアの中の日本を知るための体験型学習として、5月に沖縄フィールドワークを実施、6月にその報告会を開催した。

参加者：友愛学舎2、留学生4、信愛学舎1、教会青年2、スタッフ2、ガイド3の計14名

期間：講座月2回、沖縄フィールドワーク5月2日～5日

■国際青年会議 in 京都(協力)

日本基督教団主催の国際青年会議に友愛及び国際学舎留学生各1名が参加、片岡平和職員が「全国組織としての教会ができること」と題しプレゼンテーションをおこなった。

期間：2017年3月28日～31日

会場：日本クリスチャンアカデミー関西セミナーハウスほか

テーマ：「エネルギー持続可能社会の実現を目指して」

参加者：のべ約110名

(2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

「日本語ボランティア養成講座」の修了者がボランティア講師として日本語を必要としている学習者にボランティアで日本語を教える。課外活動、学習者発表会、新年会、研修会など随時行う。会報も年2回発行。

活動日：水曜日：3クラス、金曜日1クラス 年間81日授業日

のべ参加人数：ボランティア2,419名、学習者4,689名

■震災被災者支援ボランティア活動

①東日本大震災被災者支援活動

富士登山を7月31日から8月2日まで実施、19名が参加。福島原発事故により首都圏に自主避難されている家族と、奉仕園留学生が国際交流を兼ねて実施した。

②熊本復興支援ボランティアワークキャンプ

友愛学舎舎生が中心に企画し、8月23日から27日にかけて熊本大震災の復興支援ボランティア活動を実施した。

参加者：大学生16名（うち友愛学舎から2名）

場所：崇城大学ボランティアヴィレッジ

③災害ボランティアリーダー育成研修プログラム参加支援

7月2、3日に実施されたピースボート災害ボランティアセンター主催による災害時のボランティア活動を担う人材育成研修に学生2名が参加、上記熊本復興支援のリーダーとして活動を担った。

参加者：大学生2名

■野宿者支援給食活動@渋谷

給食活動の食事準備、配食のボランティア活動を通して、貧困や生存権の問題を身近に感じた。早稲田教会、東京平和教会、日本福音ルーテル本郷教会、本郷学生センターの有志が参加し、協働プログラムとして実施した。活動実績は4,054食を準備し、3,014人の方にお渡しした。ボランティアは準備に243人、配食に302人が参加した。保存食やお米の寄付を玉川聖学院、聖望学園、青山学院からいただいた。

■早稲田ネットワーク外国人無料生活相談会(共催)

日本社会で暮らす在日外国人への無料相談窓口を開設し、行政や教育的な制度活用を支援した。生活・労働・教育の分野で相談スキルを持つ個人が集まり、相談業務に当たった。毎月第2日曜日に開催したが、2017年度は活動実績を踏まえて年4回に縮小する。電話相談は引き続き行い、適切な相談団体へつなぐ。

主催：早稲田ネットワーク

実施日	来所人数と相談状況
4月10日	来所者2名、国籍バングラデシュ2。個別1件；労働(労災と雇用)
5月8日	来所者0名。都営住宅5月申込み希望者と電話相談等
6月10日	来所者4名、国籍ミャンマー4。個別1件：生活(進学と就職について)
7月10日	来所者1名、国籍フィリピン1。個別1件：生活(子どもの就学)
8月14日	映像ワークショップ(NPO法人みんなのおうちと共催)
9月11日	来所者3名、国籍ミャンマー1、ベトナム2。個別2件：労働(社会保険加入について)、生活(ビザ問題)
10月9日	来所者2名、国籍ミャンマー1、フィリピン1。個別1件：生活(都営住宅申し込み/家族関係)
11月13日	来所者1名、国籍フィリピン1。個別1件：区営住宅申し込み/家族問題 都営住宅11月申込み希望者と電話相談
12月11日	来所者：0名。相談ケースに関するスタッフとの情報共有の時間として活用
2017年 1月8日	来所者：1名、国籍フィリピン1。個別1件：労働(雇用条件と経済問題)
2月12日	来所者：1名、国籍ミャンマー1 / 電話相談1名、中国1。個別2件(電話含)：(子どもの教育と社会保険加入)、(病院への受診について)

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■アジア語学講座

アジア諸地域の言語を学ぶことを通じ、文化や習慣、社会への理解を深めることを目的に、各言語講座及び特別講座を実施した。

① アジア語学講座 通年クラス

ベンガル語、ヒンディー語、ミャンマー語の言語を学習する語学講座及び料理などの文化や地域社会を学ぶプログラムの開催を通して、人材育成及び文化理解の促進を図る。

前期：受講者数合計 54名

クラス	入門	初級	中級	上級	合計
ベンガル語	入門 5	初級1 5 初級2 3	中級3 7	上級 4	24
ヒンディー語	入門 11	初級2 5	中級 4		20
ミャンマー語	入門 10				10

後期：受講者数合計 45 名

クラス	入門	初級	中級	上級	合計
ベンガル語		初級 1 7	中級 6	上級 3	23
		初級 2 4			
		初級 3 3			
ヒンディー語	入門 5	初級 1 7	中級 4		19
		初級 3 3			
ミャンマー語		初級 1 3			3

講師：ベンガル語：アザド ムンシ、ムンシ スルタナ

ヒンディー語：雪下洋一、白井桂

ミャンマー語：大塚行誠

② はじめての韓国語通訳 2 日間レッスン

通訳の第一線で活躍する国際会議通訳者が講師を担当。韓国語通訳の学習法を紹介し、実際に体験することを通して、学習者の韓国語力アップならびに、弱点の克服を図った。さらに、韓国語ネイティブの講師による丁寧な指導を通して、日本語から韓国語への訳出にも挑戦し、韓国語らしい表現力を身につける実践的なトレーニングを行った。

- ・日→韓訳出にもチャレンジ！はじめての韓国語通訳 2 日間レッスン

韓国語ネイティブのプロ通訳者による韓国語への訳出に重きをおいた集中講座(5 時間×2 日間)を開講。

開講日：2016 年 7 月 9、10 日

受講者数：8 名

講師：ペ スンジュ

- ・実践力をつけよう！はじめての韓国語通訳 2 日間レッスン

プロ通訳者による通訳メソッドを用いた上級者対象の集中講座(5 時間×2 日間)を開講。

開講日：2017 年 3 月 11、12 日

受講者数：7 名

講師：矢野百合子

■アジアの文化を体験しよう

アジアの食文化の体験や、講座の垣根を超えた交流の場として、特別講座「スルタナ先生のベンガル料理教室」を開催。

講師：ムンシ・スルタナ(奉仕園ベンガル語講師)

実施：2016 年 11 月 5 日

参加者数：16 名

■ムリなく学べる基礎英語

しばらく英語から離れていた方も気軽に始められるゆっくりとしたペースの講座。基本文法と文型を学びつつ、身近な話題を取り上げ、日常会話や海外旅行にも役立つ表現を身につける。

期日：4月から9月 14回

受講者数：7名

■日本語ボランティア養成講座

外国人に日本語を教えるノウハウを学ぶ講座。初級Ⅰ、初級Ⅱ、中・上級を1年かけて学ぶ。初級Ⅰ修了後からボランティア活動が開始できるようになる。

講師：数土容子(武蔵大学教員)

受講者：

初級Ⅰ	4月開講 全16回	19
初級Ⅱ	10月開講 全12回	18
中上級	2月開講 全4回	8

■Let' s 朗読

10月より開講。毎回の講座ではストレッチで体をほぐした後、発声練習で発音や発声をクリアにし、作品に取り組み、詩や物語を感じながら朗読します。講座最終日にミニ発表会を教室内で開催。

期間：10月～3月 全8回

受講者数：後期7名

講師：飯島晶子(朗読家)

■水彩画レッスン

室内では静物や人物などを描き、野外スケッチでは東大構内や日比谷公園などに出かけ、スケッチと講評をおこなう。

受講人数：18名

講師：森本太郎(美術作家)、渡邊義孝(尾道市立大学非常勤講師)、河原美由紀(画家)、岸成行(建築家)、原游(美術作家)

作品展：3月10～15日、受講生と講師の作品43点をスコットホールギャラリーにて展示、来場者150名

スケッチ合宿：3月18～19日、神奈川県三崎にて開催、講師やスタッフを含む計20名参加。

■北田英治の写真講座

屋外での撮影を中心に写真を撮ることと写真を創ることを学ぶ。屋外では、羽田や品川などで撮影、講評をおこなう。

受講人数：12名

講師：北田英治(写真家)

写真展：7月、11月、3月に写真展「旅する写真展 vol.5 - vol.7」をスコットホールギャラリーで開催。

撮影合宿：11月12～13日、伊豆大島にて開催、講師とスタッフ含む計12名参加。

■スコットホールでゴスペルを歌おう

スコットホールで思い切り声を出し、合唱を楽しんで元気になる！講座。ストレッチ、ボイストレーニングをし、シーズンの課題曲(講師によるオリジナルアレンジ曲)を練習。福祉施設訪問での演奏活動にも取り組んだ。

講師：藤子(プロシンガー、ボイストレーナー)

受講者：

シーズン①	4月開講 全7回	16名
シーズン②	7月開講 全7回	14名
シーズン③	10月開講 全7回	14名
シーズン④	1月開講 全7回	15名

公演：

4月2日	新宿区主催レガスまつり	9名参加
4月14日	Open Voice Day!	17名参加
8月4日	練馬キングス・ガーデン	14名参加
12月16日	クリスマス発表会	14名参加

■STUDY HALL!

単発の講演会、映画上映会、料理(レシピ)教室、ワークショップ、フィールドワークなどの単発イベントを束ねる枠組み。「STUDY HALL」は主にアメリカで使われる「自習室」の意。まなび舎の4つのカテゴリーに沿い、「おもしろい学び」の空間を目指す。ある程度集客を期待できそうな企画について時期を逃さずに実施、「おもちゃ箱」のように、雑多であることを特徴とするプログラム。

第1回 2016年7月4日

イスラム教徒の患者さんも安心！国際診療の最前線を知る

メインスピーカー：二見茜(国立国際医療研究センター国際診療部コーディネーター)

体験談：アザド先生とスルタナ先生(早稲田奉仕園ベンガル語講座講師)

進行：小池善(早稲田奉仕園職員)

参加者：28名

<p>第2回 7月21日 地域に広がる『こども食堂』 - 世田谷にあるお寺さんの活動から スピーカー：酒井義一(世田谷・真宗大谷派存明寺住職) 進行：片岡平和(早稲田奉仕園職員) 参加者：18名</p>
<p>番外編 9月7日 人と出会い、現場と向き合う-飛田雄一さんに聞く、私とキリスト教と多民族・多文化共生 スピーカー：飛田雄一(公益財団法人神戸学生青年センター館長) ゲスト：佐藤信行(在日韓国人問題研究所所長) 参加者：28名</p>
<p>第3回 9月28日 広がれこども食堂の輪 全国ツアーキックオフイベント スピーカー：栗林知絵子(特定非営利活動法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク理事長)ほか 参加者：150名</p>
<p>第4回 10月5日 映画「PK」ピーケー試写会 参加者：80名</p>
<p>第5回 11月8日 トークショー「写真家 亀山ののこが今、伝えたいこと」&写真展「ネパールのいま-大地震から一年半」 共催：シャプラニール スピーカー：亀山ののこ(写真家) 参加者：30名</p>
<p>第6回 12月7日 大国インドネシアから考えるイスラームの現在地-経済発展を遂げる多宗教・多民族国家のイスラーム化とテロリズム スピーカー：小川忠(独立行政法人国際交流基金) 参加者：20名</p>
<p>第7回 2月8日 小さな場所から広がる可能性-「HALU」と「べてぶくろ」の豊かなく場>作り スピーカー：館野友仁(NPO 法人 Ubdobe 事務局長)、向谷地宣明(べてぶくろ) 参加者：11名</p>
<p>第8回 2月25日 行きたくなかった！帰らなくなかった！バングラデシュ-川嶋乃笑さんスタツアで経験したことと、その後の想 い 共催：認定 NPO 法人アジアキリスト教教育基金(ACEF) スピーカー：川嶋乃笑(女子聖学院高等学校3年生)、井上儀子(ACEF) 参加者 20名</p>

■聖書講座 新しい聖書の学び『イエスの譬え話』に響く声(共催)

福音書記者の編集や教会の伝統的な解釈にとらわれず、イエスが活動した時代の社会背景を踏まえ、イエスが語りかけた貧しいガリラヤの農民たちの視点から譬え話に込められたメッセージを聞く。

開講日：毎月第2火曜、全10回

受講者：のべ 29 名、平均 17 名

講師：山口里子(日本フェミニスト神学宣教センター共同ディレクター)

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

■ララ物資 70 周年記念フォーラム「今伝えたいララからのメッセージ」(共催)

戦後、主にアメリカのキリスト教教会・団体関係から送られた救援物資(ララ物資)の開始 70 周年を記念したフォーラムを 11 月 30 日にスコットホールで開催した。

共催：CWS Japan、(公財)ウエスレー財団、日本基督教団、(社福)日本キリスト教奉仕団、(公財)日本YMCA同盟、(公財)早稲田奉仕園

後援：社会福祉法人 全国社会福祉協議会

協力：JICA 横浜 海外移住資料館、日本キリスト教協議会、日本キリスト教児童福祉連盟、日本キリスト教社会事業同盟、日本福音同盟(JEA)援助協力委員会、特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

■日本キリスト教協議会在日外国人の人権委員会公開セミナー(後援)

11 月 18 日「共に生きるために わたしたちにできること ―ヘイトスピーチ解消法成立後に残された課題」の後援団体として開催に協力。

講師：師岡康子弁護士

参加者：50 名

主催：日本キリスト教協議会(NCCJ)在日外国人の人権委員会

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

後援：(公財)日本YMCA同盟、日本カトリック難民移住移動者委員会、日本キリスト教団 東京教区北支区部落解放委員会、同教区部落解放五支区代表者会、日本バプテスト連盟日韓・在日連帯特別委員会、外国人住民基本法の制定を求める関東キリスト者連絡会、同神奈川キリスト者連絡会(計 7 団体)

■「広がれ、こども食堂の輪！」全国ツアーキックオフイベント(協力)

9 月 28 日、同実行委員会主催のイベントに協力した。来場者 140 名。共同通信の取材により、西日本新聞ほか 12 社が翌日に報告記事を掲載した。全国ツアー開催の好スタートを切った。その後、2016 年度内に 20 ヶ所でシンポジウムを開催し、2017 年度も 20 ヶ所でのシンポジウムの開催が決定している。

(4) 学寮運営事業 (友愛学舎・ゲストハウス)

■友愛学舎

舎生数：2016年度は4年生4名(男子1名・女子3名)、3年生3名(男子1名・女子2名)、2年生5名(男子1名・女子4名)の在寮生に加え、新1年生の男子3名を迎えた。

活動：朝の会 学期期間中の月曜日から金曜日の7時から7時30分まで。聖書研究(使徒言行録)及び学生発表等を行った。

舎生会 毎月1回開催、友愛活動・生活について話し合う。

年間活動 4月の活動開始に向け、新入生を含めたオリエンテーションを1泊にて実施、寮生活の意義や奉仕園や友愛学舎の歴史を学ぶ機会を持った。卒舎式(3月)などの行事のほか、年中行事を楽しむ会などを担当し企画運営をおこなった。また教会はじめ外部団体と連携し海外研修やボランティアの機会を増やしていくようにし、広い視野を持って社会に出て行かれるようサポートをおこなった。

福山裕紀子副牧師(早稲田教会)にカウンセラーとして、古賀博牧師、大矢直人牧師に聖書研究のほか寮運営全般のアドバイザーとして奉仕をいただいた。

■キリスト教学生寮懇談会

都内及び近郊のキリスト教主義による超教派の学生寮のネットワーク。6月28日登戸学寮にて、2017年1月31日早稲田奉仕園にて開催した。寮運営、プログラム等について情報交換をおこなった。現在、友愛学舎、早大YMCA信愛学舎、山手学舎、山上学寮、東京ティラナスホール、登戸学寮、春風学寮、東大YMCA寮、一橋YMCA寮の9学寮が加盟しているが、さらに参加を呼び掛けたい。

■ゲストハウス

大学学部生・大学院生・研究者のための寮、6名が在寮。奉仕園プログラムなどへの積極的な参加を促した。

(5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業 (国際友愛学舎)

■国際学舎

早稲田大学の外国人留学生・研究員寮。レジデントアシスタント(RA)がRAコミュニティー

ルームに平日の 19 時から 21 時まで常駐。入寮時に提出される入居カードのデータベース化を推進した。早大留学センターとの情報共有に努め、留学生が安心して安全な寮生活を送れるよう、近隣にある交換留学生寮(早大寮・西早稲田寮)とも連携を図った。

2016 年度国・地域別居住者数(合計 273 名、34 の国と地域)

アメリカ	69	中国	40	イギリス	31
フランス	25	ドイツ	15	オーストラリア	11
韓国	9	カナダ	8	イアリア	7
オランダ	7	スウェーデン	6	スペイン	5
日本	5	スイス	4	ベルギー	3
台湾	2	デンマーク	2	ブラジル	2
香港	2	ニュージーランド	2	トルコ	2
ポーランド	2	マレーシア	2	ロシア	2
イスラエル	1	アラブ	1	シンガポール	1
パプアニューギニア	1	アルゼンチン	1	エストニア	1
オーストリア	1	ベラルーシ	1	チェコ	1
ブルネル	1				

■留学生健康相談室の運営

必要に応じて個別面談を実施し健康状態の把握に努めた。早稲田大学と連携を取り、緊急時を含めて対応できるような体制をとっており、連絡体制などを随時確認した。

開室時間：毎週火曜日、金曜日 14：00～18：00、毎週水曜日 13：30～17：30

第 3 火曜日 16：00-19：00

相談内容：病院の紹介、栄養指導、ケガの応急処置、風邪の初期対応、感染症(インフルエンザ等)についての情報提供、健康状態の把握、既往歴患者へのフォローアップなど。

■FRIDAY・NIGHT

寮生間の親睦をはかるパーティー。入寮の時期となる 4 月及び 9 月に開催した。9 月は Japanese Night として友愛学舎がホストを務めた。

■奉仕園クリスマス会

奉仕園学生寮の寮生を中心に、12 月 12 日に開催した。交流パーティーのほか、グループや個人によるアトラクションを実施した。

■第 13 回長野市大岡研修旅行

長野市大岡を訪問し、小学校訪問、農作業体験、ホームステイなどを通じて日本の農村生活を体験。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生 15 名、RA2 名

期間：5 月 27 日～29 日 2 泊 3 日実施

協力：早稲田大学 ICC、公益財団法人育てる会大岡ひじり学園、長野市教育委員会

内容：大岡中学校での交流会、農家へのホームステイ、郷土料理実習、農作業体験、

陶芸実習、自然散策、歴史的建造物の見学、ほか

■第 7 回富士山登頂研修旅行

NPO ココロとカラダを育てるハッピープロジェクトの協力を得て、原発事故による放射能汚染により首都圏へ避難している家族、留学生と共に山頂まで登った。

参加人数：友愛学舎生 1、留学生 12、同 NPO 4、奉仕園スタッフ 2 の計 19 名

期間：7 月 31 日～8 月 2 日

協力：NPO ココロとカラダを育てるハッピープロジェクト、日本 YMC A 同盟東山荘

■第 11 回早稲田大学留学生・冬の富士山を楽しむ研修旅行

早稲田大学留学生が静岡県御殿場市を訪問し、富士山周辺散策を通じ日本の自然に触れ、環境への理解を深める。

参加人数：早稲田大学在籍の外国人留学生・研究者 20、RA2 の計 22 名

期間：2 月 7 日～9 日 2 泊 3 日実施

協力：早稲田大学 ICC、日本 YMC A 同盟東山荘

内容：富士山麓の散策、富士山周辺の自然学習、郷土料理実習、箱根観光等

■ホームビジット

留学生に東京近郊の一般的な日本人の生活に触れてもらう機会を提供した。留学生を迎えるホストファミリーには奉仕園 OBOG、早稲田教会、奉仕園日本語ボランティアの会などにご協力いただいた。

実施期間：前期 6 月 6 日～7 月 3 日

後期 10 月 24 日～12 月 4 日

参加人数：前期 5 つのホストファミリーに 12 名の留学生が訪問

後期 6 つのホストファミリーに 12 名の留学生が訪問

■留学生インスタ写真展

日本に住む海外からの留学生を対象にインスタグラムを使用した WEB 写真展を開催。

実施期間：2017 年 2 月 1 日～2 月 28 日

応募総数 218 枚

贈呈式：2017 年 4 月 3 日

協賛：公益財団法人高山国際教育財団、万座温泉日進館 万座温泉ホテル

広報企画協力：特定非営利活動法人 J A F S A

■日本料理教室

日本家庭料理の作り方を学び、みんなで仲良く料理をしながら日本の食文化を体験するという趣旨で、留学生(寮生)を対象に日本料理教室を開催。

実施：2016 年 10 月 28 日

参加者数：16 名

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■不動産賃貸事業

月極駐車場及び事務所の賃貸、宣教師館・牧師館、教会への施設貸出し。月極駐車場のアスファルトを舗装し、ラインを引き直したことで1台駐車台数が増えた。

■早大染谷会館管理

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応を実施。

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業

■施設の貸与(会議室・ホール・ギャラリー)

寮デスクが旧 103 号室へ移動したことにより会議室が 1 室減ったが、施設の有効利用を心がけ利用拡大に努めるようにした。顧客の要望と施設の特性を鑑みながら備品・設備の改善を積極的におこなった。撮影での利用を積極的に受入れ、主にファッション誌、ドラマ、映画などにスコットホールが登場する機会が増えた。1 月の撮影は過去最大規模となったが無事終了した。また日比谷花壇社にホールやギャラリーを葬儀・お別れ会等で使用されることが増え、あらたなニーズとなっている。アイビーハウス 2 階利用促進のため、学生向け割引キャンペーンを実施した。12 月より Google インドアビューを導入し、奉仕園構内及び室内の様子をHP上で公開した。

下記のように備品・設備の改善を適宜行った。

- ・リバティホール洗面台の新設
- ・5号館裏口のドア交換・ダウンライトを新設
- ・会議室にWi-Fiを設置
- ・フロントカウンターおよび職員デスク環境の更新
- ・空気清浄機を全会議室に設置

■早稲田スコットホールギャラリー

大規模なシェイクスピア没後100年記念人形展の会場として使用された。オープンスペースとしてのさまざまな利用に対応できるスペースとして案内を心掛けた。その他撮影のリピート利用も入る機会が増えた。

■プログラム(協賛を含む)の開催

- ・スコットホール公開&ガイドツアー(10月31日、約50名参加)
- ・チャリティ古本市 第18回4月18日～6月末日 77,558円を「熊本YMCA震災復興支援募金」に寄付
第19回10月15日～11月末 76,975円を「「広がれ!子ども食堂の輪!」全国ツアー実行委員会」に寄付
- ・早稲田地球感謝祭実行委に会議室提供(7月14日、9月13日)
- ・歴史的建造物の保存を支援するチャリティコンサート
「黒岩悠ピアノリサイタル」(2月8日、150名)
- ・NPO法人世界ヒバクシャ展協力(4月22日～5月1日)

3. 公益目的事業・収益事業共通業務

■広告・宣伝

ホームページはパソコンとスマートフォン・タブレット端末での閲覧数が同数に近づきつつある傾向を受け、2016年度はそれぞれの機器で見やすく表示できるよう“レスポンス対応サイト”作成および切り替えを行った。また、引き続きフェイスブック、ツイッター、ブログ等多彩なメディアの活用を促進。

■施設管理

おもな補修、施設更新、備品購入等は次のとおり。

	内容	事業区分	金額
1	受電設備更新	全事業	379万
2	1号館(奉仕園会館)4階給湯設備更新	公益事業(学寮)	150万
3	3号館(国際友愛学舎)一部外壁補修	公益事業(学寮)	54万
5	スコットホール裏敷地舗装	収益事業(不動産賃貸)	561万
6	自動車	公益事業(活動)	111万

4. 法人総務

■早稲田奉仕園賛助会員

2016年度は個人100名、法人1団体に加入いただいた。

■広報

奉仕園通信は72号(4月15日)、73号(10月25日)を発行、ホームページの更新及び「奉仕園スタッフのブログ」の掲載を随時おこなった。

■財団会議

① 理事会

第1回定時理事会(6月1日)

第2回定時理事会(3月9日)

② 評議員会

定時評議員会(6月16日)

臨時評議員会(3月17日)

③ 常任理事会

第1回常任理事会(5月24日)

第2回常任理事会(9月26日)

第3回常任理事会(10月28日)

第4回常任理事会(1月19日)

第5回常任理事会(2月21日)

④ 評議員・理事・監事懇談会

評議員・理事・監事懇談会(11月17日)

■監査

監事監査 5月19日、11月17日

監査法人監査 4月4日、5月18日～19日、11月16日

■行政庁(内閣府)諸届

6月29日 2015年度事業報告等の提出

8月10日 同上修正の提出

3月28日 2017年度事業計画書等の提出

■職員人事

千花子(嘱託職員採用、10月1日)

小池善(正職員退職、3月31日)

■諸規程

就業規則 第2条、4条、9条、13条の変更(2月23日施行)

退職金規程 第4条の変更(2月23日施行)

継続雇用規程 第1条、第3条、第9条の変更(2月23日施行)

■キリスト教施設長会議

北海道クリスチャンセンターを会場に1月25日から27日開催、吉田専務理事が出席した。

■国際協力NGOセンター(JANIC)公益法人に関する連絡会

定例会：5月12日(於奉仕園)、10月13日(於奉仕園)、1月26日(於奉仕園)

2016年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。

2017年5月
公益財団法人 早稲田奉仕園